

4月交流会 ～UNISON未来検討委員会～

2011年UNISON代表
伊藤・春木・牟田

会の流れ

10:00～10:30	会の趣旨説明 自己紹介 来年度のUNISON体制案紹介
10:30～12:30	ディスカッション1『UNISONは何を目指すべきか』
12:30～13:00	午前中のまとめ
13:00～14:00	お昼休憩(キャッチフレーズ公開/希望者で松永研見学)
14:00～17:00	ディスカッション2『今のUNISONの問題点って?』
17:00～18:00	本日のまとめ
18:00～18:30	キャッチフレーズ投票
19:00～	懇親会 with UNISAS

本日の目的

- 2011年度の(ひいてはもっと遠い未来の) UNISONをどうしていくか考える。
- そのための具体的な方法を打ち出す
- **ぶっちゃけてしまえば、**
- **UNISON代表3人だけじゃ正直、力不足。。。。**
- **皆さんの力を貸してください！**
- **ってことです♪**

これまでのおさらい

- Workshop2010で『UNISECの目指す先』というテーマで学生討論を行いました。
- 本日の議論がその焼き直しにならないようにここで少しおさらいをしたいと思います



これまでのおさらい

- UNISECに求めているもの
 - 技術
 - 知識・技術を教えてもらいたい
 - データベース化
 - 大学ならではの開発がしたい！
 - UNISECの衛星をUNISECで打上げたい！
 - 自由、冒険する「あほな」衛星をつくりたい
 - 交流
 - お互いを刺激したい
 - 異分野の人と交流したい
 - 文系、ミッション側
 - 協力して1つのプロジェクトを行いたい

これまでのおさらい

- 問題点
 - 交流する機会が少ない
 - 地方の団体は参加しづらい
 - ARLISS, 能代のレベルが低い
 - UNISECの情報がどこで得られるか分からない
 - 交流の目的が分からない
 - 運営側以外が受動的になる
 - レベルの差がある、敷居が高い
 - 参加者がやりたいことをやっているだけになっている
 - UNISECの認知度が低い

これまでのおさらい

- 具体的な方法
 - UNISONブログやメルマガを有効活用
 - 講演会(刺激や発見を目的にする)
 - 勉強会
 - 外部広報イベント(刺激や発見を目的にする)
 - UNISEC留学制度
 - Cansatの技術を教えに行く
 - 異分野の人を巻き込む

ということで考えてみました

UNISON2011概要(案?)



- 活動目的
- UNISON2010
- UNISON2011
 - 3つのWG
 - UNISON2011の活動アイデア
 - 交流会企画
 - 見えちゃったプロジェクト

UNISONの活動目的

- 技術開発

➡ 同分野(ロケット・衛星)内での技術交流

- 人材育成

➡ 分野を超えた新しい視点を得るための交流

- アウトリーチ

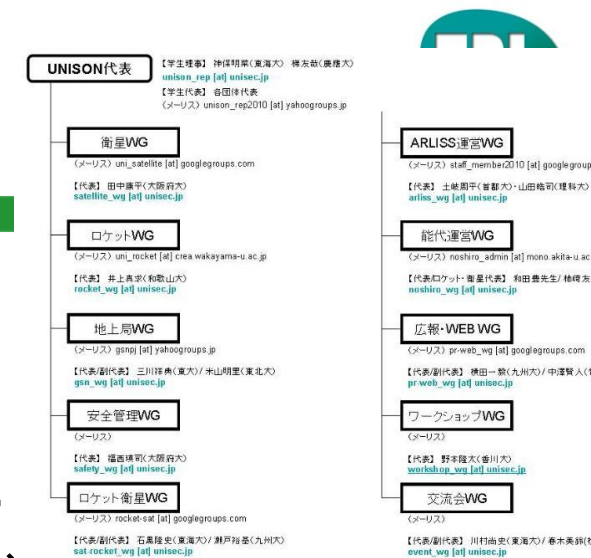
➡ UNISEC外の方に活動を知ってもらう



UNISECから宇宙開発をつなげていく！変えていく！！

UNISON2010

- UNISON代表の下に10個WGが存在
- UNISONとしての活動が活発になった
(交流会、講演会、UNITEC-1などなど)
- 反省点:
 - WGが多過ぎて、他のWGが何をしているか分からない
 - 参加メンバーが一部に固まった



UNISON2011ではWGの活動内容は継続し、より見え
やすい&参加しやすい体制へ！

■3つのWG

衛星/ロケット/それ以外(=交流)

■WGの下にそれぞれのプロジェクト

➤衛星WG

衛星だけのプロジェクト

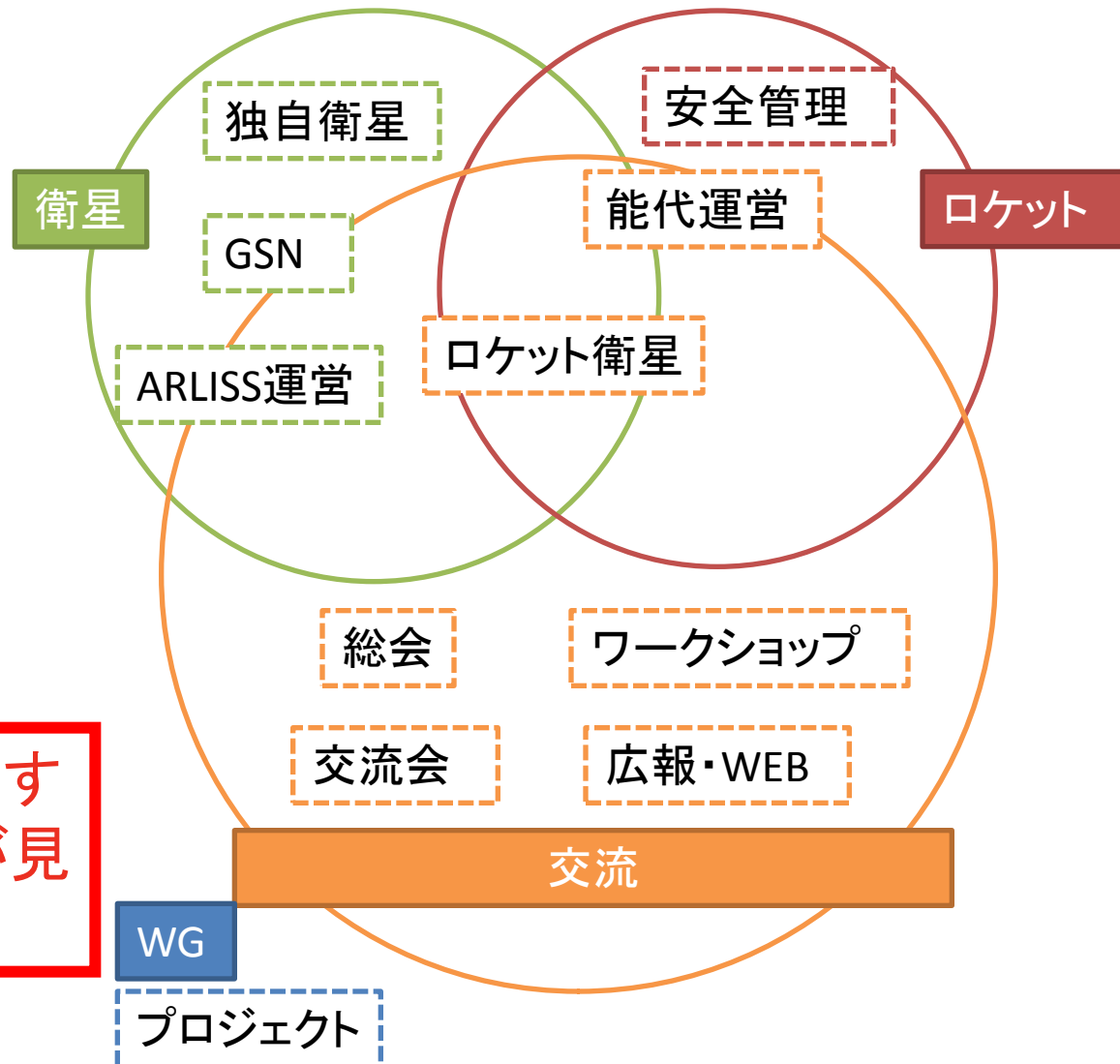
- GSN
- 独自衛星
- ARLISS運営

➤ロケットWG

ロケットだけのプロジェクト

- 安全管理

グループの枠組みを大きくすることで、より多くの活動が見えやすく！



■3つのWG

衛星/ロケット/それ以外(=交流)

■WGの下にそれぞれのプロジェクト

➤衛星WG

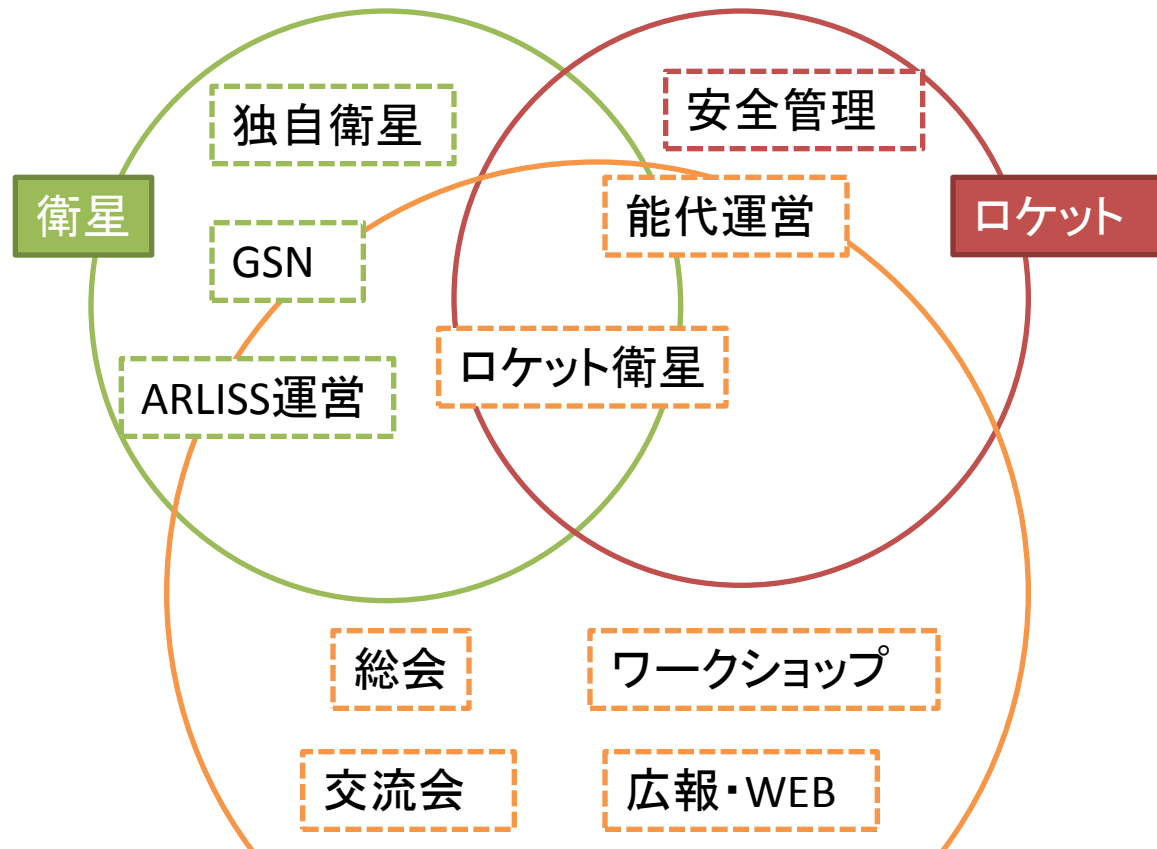
衛星だけのプロジェクト

- GSN
- 独自衛星
- ARLISS運営

➤ロケットWG

ロケットだけのプロジェクト

- 安全管理



・既存の活動(ロケット・衛星)は内容によって分類
→UNISON活動目的「**技術交流**」の活性化へ！

プロジェクト

■3つのWG

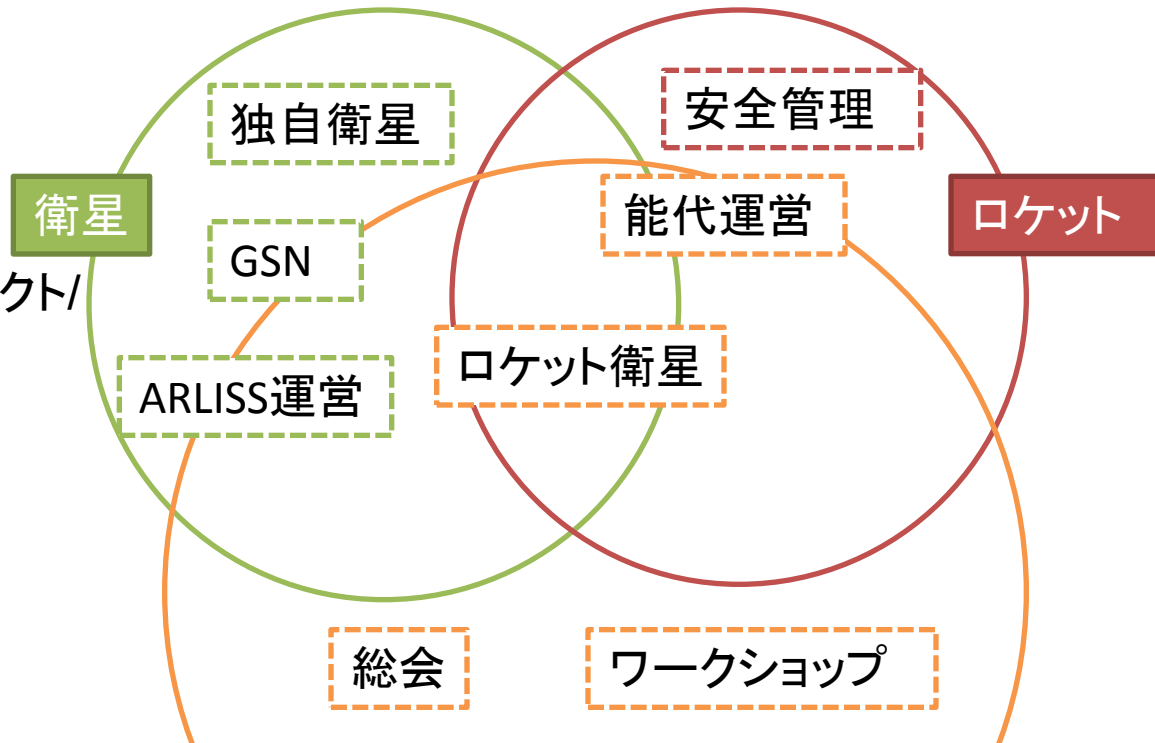
衛星/ロケット/それ以外(=交流)

■WGの下にそれぞれのプロジェクト

➤交流WG

2つのWGのコラボプロジェクト/
全体のプロジェクト

- 交流会
- 広報・WEB
- 総会
- ワークショップ
- 能代運営
- ロケット衛星



- ・2010から新たに始まった活動はUNISON代表が積極的に企画
 - ・目的(異分野との交流・新たな視点)を明確にした交流の実施
 - ・各種定例イベントも効果的に活用
- UNISON活動目的「**人材育成**」の活性化へ！

■3つのWG

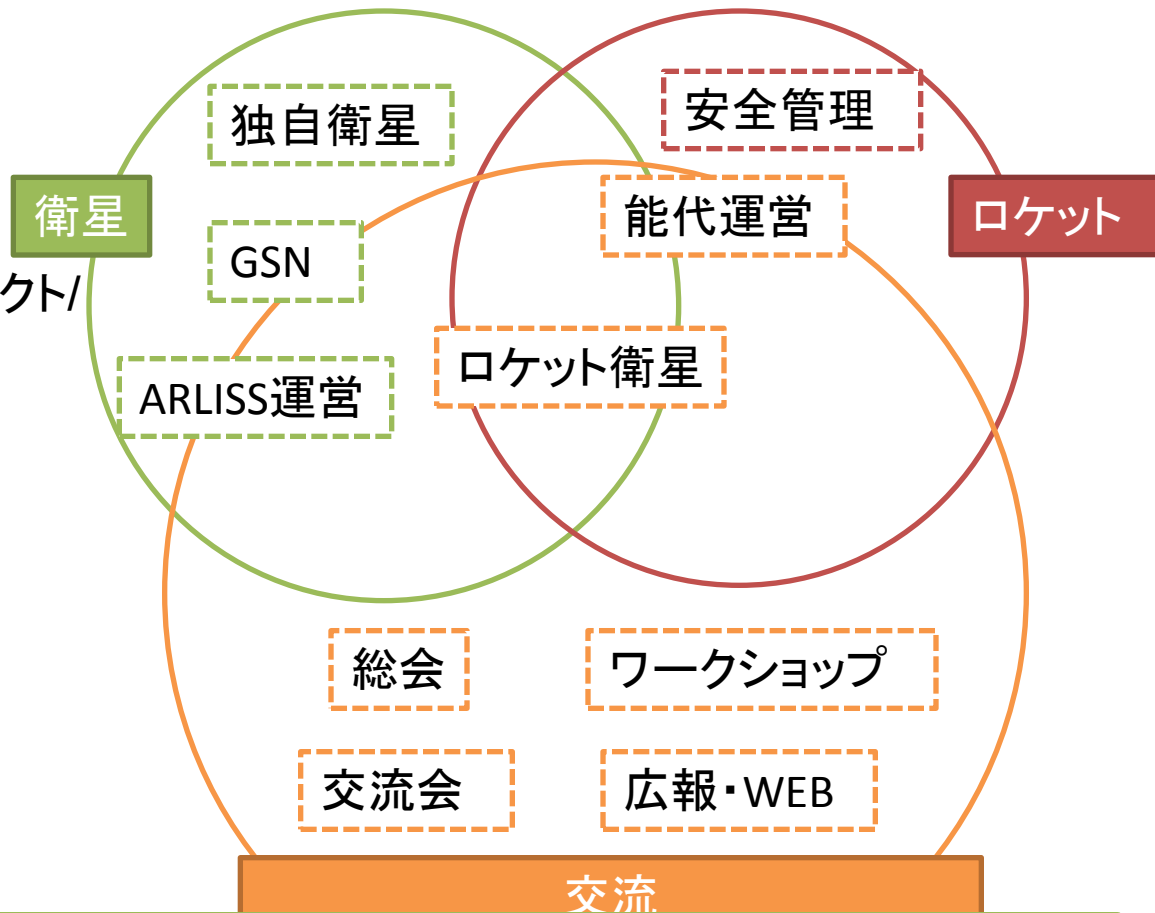
衛星/ロケット/それ以外(=交流)

■WGの下にそれぞれのプロジェクト

➤交流WG

2つのWGのコラボプロジェクト/
全体のプロジェクト

- 交流会
- 広報・WEB
- 総会
- ワークショップ
- 能代運営
- ロケット衛星



・国際イベント(NanoSatシンポ・ISTSなど)へ積極的に参加
→UNISON活動目的「**アウトリーチ**」の活性化へ！

- 各分野での技術交流の促進
- 交流会企画
- 見えちゃったプロジェクト

- 衛星
 - 独自衛星間の連携強化
 - 勉強会(衛星開発の知識を共有しよう！)
 - 討論会(小型衛星の未来を考えよう！)
 - 即席☆サットコン(ミッション探しの旅)
 - Cansatのさらなる発展
 - ARLISSの国際化強化(外国の人と仲良くなろう！)
 - SPindleプログラム・ルールの改善による成功率UP！(動くCansatを！)
- ロケット
 - 能代のコンペ化(ロケットも競おう！)
 - 安全管理の強化(初心者にもわかりやすく！)

- 交流会

- 工学以外との交流：SDF, 理学

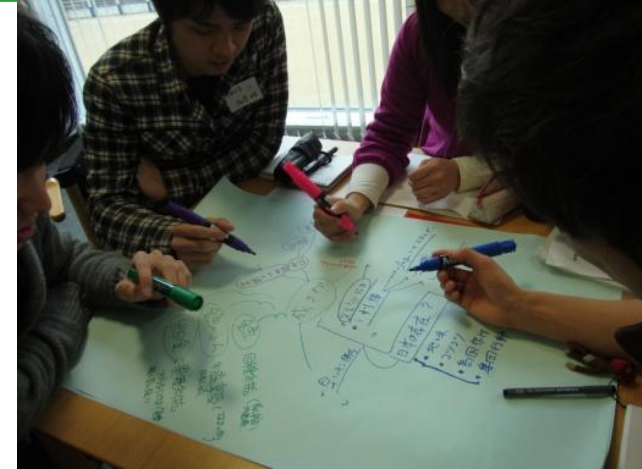
- 宇宙開発ってなんだ??
 - 工学ができることって??

- UNISAS：先輩の話が聞きたい！

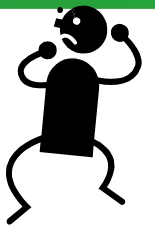
- 自分の将来のこと、日本の宇宙開発の未来を考える

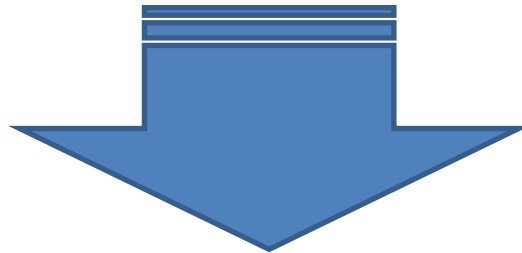
- 国際交流：Nano-satシンポ、ISTS

- 海外の人に自分たちの活動を知ってもらおう
 - 海外の人の活動を知ろう！



見えちゃったプロジェクト！

- 全国に団体が散らばっているUNISONでは、意識しないと他の団体の顔が見えない。。。 
- →学生代表の周りの人以外は雰囲気から分らず、UNISON活動に参加しづらい
- →WG・交流会イベントの参加メンバーが偏る



UNISONが（意識しなくても）見えちゃうようにしていこう！



見えちゃったプロジェクト！

- 具体的には。。。
- 全国行脚
 - UNISON代表が全団体を（自費で！？）回ります！
 - **代表と友達になることで、UNISONが自分の団体に思えてくる！**



見えちゃったプロジェクト！

- 具体的には。。。
- WEB(ブログ)の活用
 - 代表の活動は包み隠さず、UNISONブログでお届け！
 - 代表が今、何を考えていて何をしているか一目了然！



これまでの2011の活動

- 1月 : SDF交流会
 - UNISEC唯一の文系団体であるSDFとの交流会
 - 日本の宇宙開発を考える
- 2月 : UNISAS交流会/卒業パーティ
 - UNISASの方々との交流会
 - 卒業年次の方を対象
- 3月 : Nano-Satシンポ前夜祭
 - Nano-Satシンポにいらした海外のお客様をUNISONがおもてなし

ディスカッションその1

『UNISONの目的って？』

UNISONは何を目的に活動しているのでしょうか？

目指すべきものはなんなのでしょうか？

基本的だけれども、ここが揺らぐと意味がない。

あなたがUNISONに加盟している理由も合わせて考えてみるといいかもしれません。

- 宇宙を学び、創るモチベーションを見つけるところ
 - 団体の活動だけだと、作業だけに偏りがち
 - なんか、どうしてもやりたい！っていうようなこと。
理屈抜きで(?)、利益抜きで、宇宙に挑めるか、
自分を考えるところ

UNISONの目的

新しいことにチャレンジし続ける

- これまで成されていないこと(=社会に貢献できること)を見つけ、どうやったらできるのかを自分たちで考え、実際に行動する。
 - 航空宇宙工学との関連の深い手段を用いるのがUNISONの特徴の一つといえる
- UNISON代表や近い人に求められているのは、新しい企画を出し続け主催し参加者を集めること
 - 「これだ！」という企画が出ない(その企画自体の目的が微妙だったり)
 - UNISECが、より社会に貢献する団体を目指すなら、学生が社会をよく観察することと、具体的なアウトプットを出すことの2つを押さえておきたいですね
- 将来の宇宙ビジネスはUNISON出身者で独占！！

私のUNISON加盟の理由

- 加盟のきっかけは研究室(略)
- 積極的に関わりだしたのは2年ほど前から
 - JAXA・IAC2008派遣学生でカンサットの実物や開発者、小林君(前々年度学生理事)たちと出会う
- 好きで宇宙やっている人、宇宙業界を目指している人がどういう人だったこと考えてるのか知りたかった

UNISONの目的

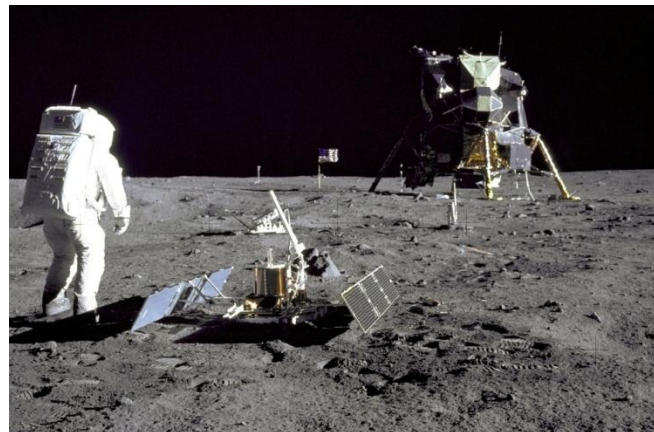
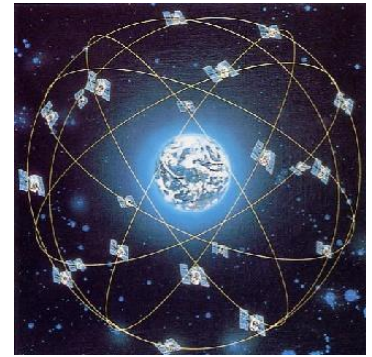


挑戦＋相手のことが考えられるエンジニア

世界の宇宙開発を牽引する人材を輩出する団体へ！ 若しくは UNISON自体が世界の宇宙開発を牽引する団体へ！

UNISON/UNISONで活動した学生が将来的には...

- (1) 深宇宙探査プロジェクトを立ち上げる
- (2) 有人宇宙探査を行う宇宙飛行士になる
- (3) 宇宙利用サービスを次々打ち出していく
などなど...“宇宙開発”の分野で世界をひっぱる！



私が考えるUNISONの目的

ロケット・衛星を製作している他団体との交流ができる.

ひとつの団体では成し得ない規模の大きなプロジェクトができる.



学生でありながらも、宇宙業界の“今”を知ることができる.

宇宙について熱く語れる貴重な仲間に出会える.

自分の将来に大きく関わる考えをたくさん得ることができる.



UNISONの目的

- 他大学(団体)の学生と一緒にになって何かやる！
 - 自分の大学(団体)だけでは出来ないこと
 - 大学(団体)同士ではなく、個人同士の繋がりでアクションを起こす
- 学生の集まりであることを生かした活動をする
 - 社会人よりフットワークが軽い
 - 社会人より自由時間が多い

UNISONの目的とは

これからの宇宙開発の現場を先導していく人材の育成

「UNISON出身だからこそできる」ことを。即戦力になるには？

「求められる人材」について考えてみた。

1. 専門の技術・知識を有すること

- 能代宇宙イベント、Work Shop

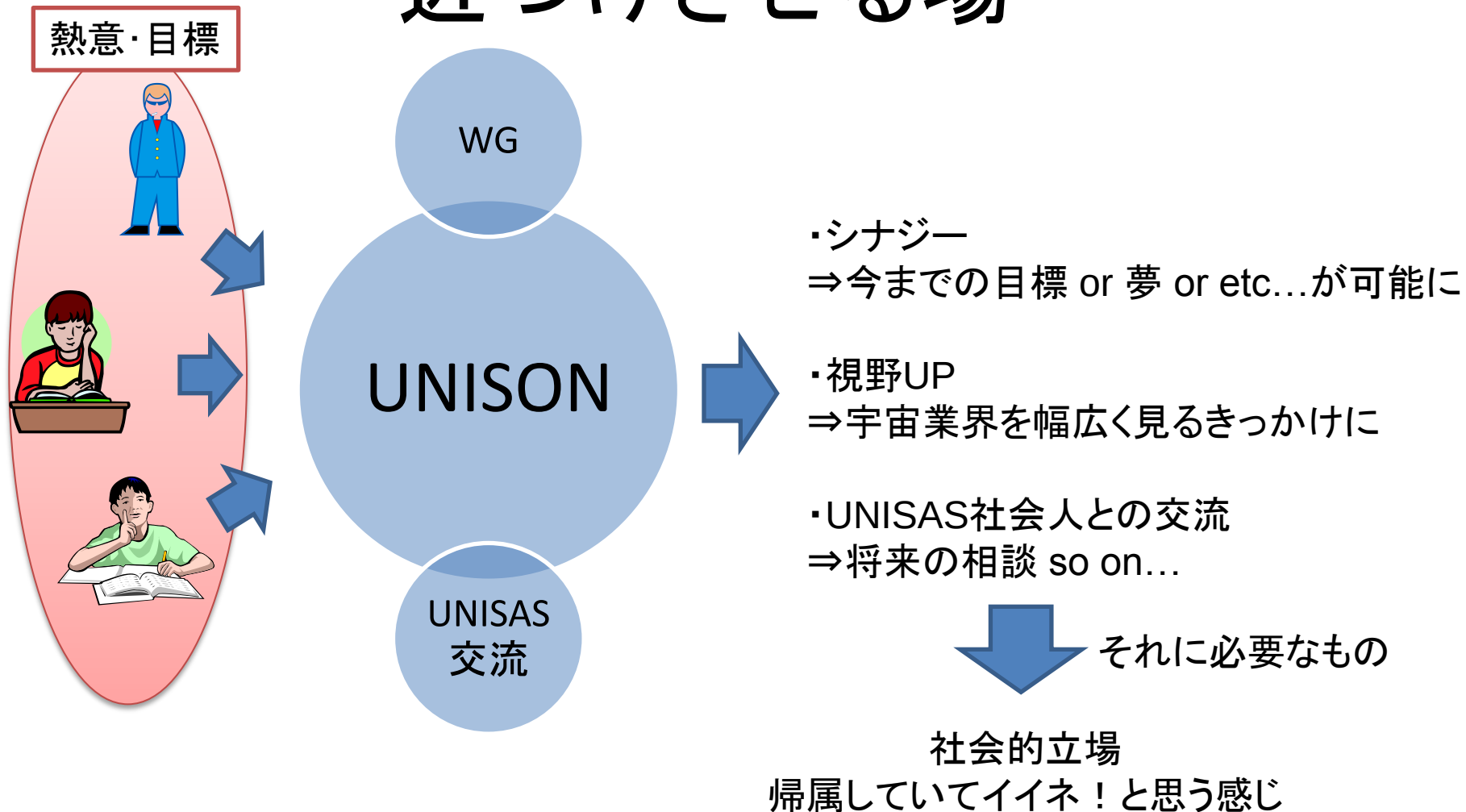
2. リーダーシップを取ることができること

- 学生主体の組織の運営

3. 様々な分野に精通していること

- 宇宙にアプローチしているのは「工学」分野だけではない！
化学、農学、医学、芸術etc...→他分野との連携が不可欠

宇宙工学系学生の将来像を 近づけさせる場



UNISONは何を目的に活動しているのでしょうか？

- ずばり、UNISEC参加学生の交流が最大の目的では。
- UNISECに加盟する団体/研究室は数あれど、その中で学生同士がふれあう場というのは思いのほか限られています。
(ex:総会, WS, 能代イベント, 各種コラボ企画くらい?)
- 加盟団体同士の(団体としての)公な交流はUNISECの役割な気もしますし、年に数回の接触機会だけではなんとも物足りません。
- 学生同士の他愛もない会話から新たな未来が拓けることに、もっと期待して良いのではないのでしょうか!
- みなさんもっと語り合いましょう!

UNISONの目的

- 各研究室学生の交流及び技術交換を行う場
- 技術競争の場

工学的・科学的成果は各研究室，団体で出せばよい．時間的，金銭的に縛りがあるUNISONで大きなことを連続で行うのは困難

人との交流

・技術

・知識

様々な団体の活動を知ること

集まることで相補的な共同プロジェクト(あるいはイベント)をおこなえる場所。

宇宙を目指す者同士で何かをやり遂げる機会が得られる場所。

その過程を通しての人材育成？

キャッチフレーズ

- あなたとつくる価値が、ここにある
- Install your passion to space
- 俺たちがUNISONだ！
- UNISONから宇宙へ
- UNISONが次世代宇宙開発のトップランナーへ
- “次世代宇宙開発のパイオニア”～UNISON～
- 宇宙，拡大中．夢，接近中．
- 宇宙人集まってます．
- ワレワレガ宇宙人ダ！！
- 宇宙、行ってきます
- 見ろ、これが学生の宇宙開発だ
- あなたの夢、一緒に宇宙へ送りませんか？
- 開拓者達集まれ！！
- 吹き込みます．新しい風
- To be the Next Bloodstream
- 宇宙の、その先へ
～未来へつなぐ責任と未来を創る心意気～
- 宇宙人、育成中
- 宇宙開発を次を担う人間、揃ってます。
- 人と、宇宙と、未来をむすぶ
- 宇宙、勉強中
- 熱意を考動に
- +α
- 宇宙への挑戦
- 教室から宇宙へ!!
- 学生による”リアル”宇宙開発
- 21世紀の未来がここにある
- UNISONが宇宙を身近にします
- 宇宙工学ならお任せあれ！！
- 新技術で新しい価値を創造します

ディスカッションその2

『今のUNISONの問題点って？』

その1であげた目標、今、達成できているでしょうか？

できていないとしたら、なぜできていないのでしょうか？

その原因はなんなのでしょうか？

それを解決できたら、きっとUNISONは一步前進できる。。。はず

- ガチで議論できるような空気が見えない
- 楽しそうじゃない
 - 遠い
 - 忙しい
 - 難しいこと抜きにして面白い企画がない？
 - 人の集め方？

今のUNISONの問題点

- 「UNISONどうにかしたい...！」という思いは何からくるのか？
 - 「UNISON」に主体的な学生とそうでない学生の温度差
 - UNISECが大きくなりすぎたのか？
 - 団体内の自分の活動が忙しいのか？
 - 「新しいことは自分たちの団体でやる(できる)」と問題意識を持っている人たちが思っている
 - UNISONを「どうしても必要」と感じている団体は少ない
 - 必要としなくても加盟できる。
 - 必要だからUNISONが存在するのか？
- UNISONの活動に、「魅力的な新しさ」がない？
 - 新しい試みは毎年されている。
 - が、attractiveなのは少ない。

UNISONの問題点

問題点1: 持続性

学生は短い期間なので、新しいプロジェクトに挑戦したとしても継続しない。
ミッションの成功がどこかしらでOUTPUTえきるといい。

問題点2:

プロジェクトの内容の深さと参加人数を増やすのはトレードオフ。UNISONの活性化＝UNISON参加メンバーが増えることなのかが明確ではない。

- 高い技術力を蓄えられていない。(実際に宇宙まで飛ぶロケット、動く衛星、、等。1年、長くても数年でメンバが入れ替わり、技術蓄積が出来ていないことが原因?)
- 仲間が足りない(多くの人が集まれば、大きなことに取り組める。ただ、むやみに集めるのではなく、“本気”で活動できる仲間を集める)
- 活動が日本内でとどまっている。活動の幅を広げたら、出来る事も広がる。(海外をもっと巻き込めると思う。将来的にはUNISONの世界支部も?)

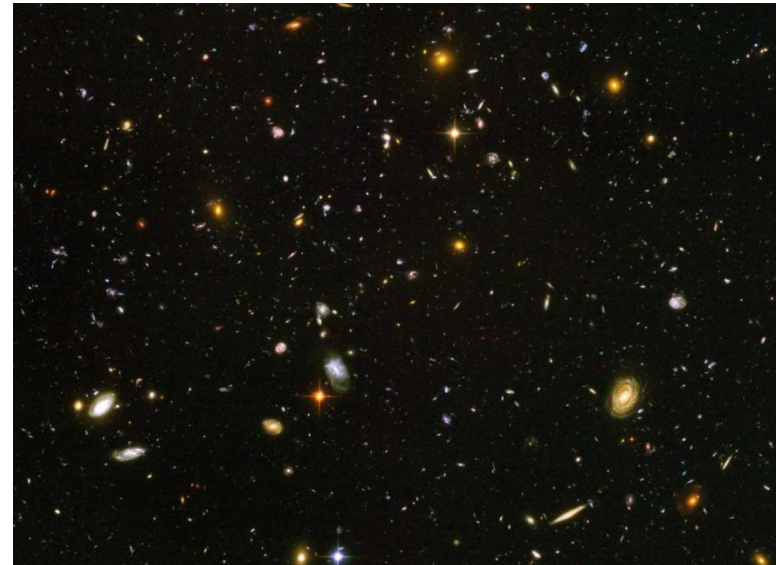
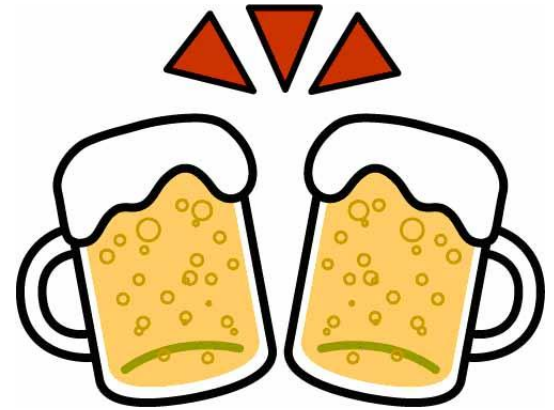


私が考える今のUNISONの問題点 (ほぼ自分の問題点)

もっとたくさん集まる機会がほしい。
例えば、月に1度の飲み会とか。
(スペドラの幹事やります！)

大学の研究でいっぱいいっぱいです..
COREに参加もできていません。

正直、自分が宇宙業界でなにをしたいのかわかりません。ただ漠然と宇宙が好きなのです。



今のUNISONの問題点

- 他大学(団体)の学生と一緒にになって何かやる！
 - 調整作業に時間がかかる
 - 簡単にコミュニケーションを取れない
- 学生の集まりであることを生かした活動をする事
 - 学生の特権が何か分かっていない

目的を達成するために

UNISONがこれからすべきこと

次のステージへ進むことを視野に入れる

～「宇宙開発」から「宇宙利用」へ～

次世代宇宙開発における「工学系」の立場・役割とは？

それを知るためには他分野との交流、連携が不可欠。

フットワークの軽さも生かす。

例) WSにおける他分野の講演

- UNISEC内部での位置づけ; 目的, を明確化
UNISECの活動 ⇔ UNISONの活動
- アウトプット不足
 - 目標達成に向けて一貫した活動不足

今のUNISONの問題点って？

- 学生同士の接触が少なすぎる!
- 気軽に参加できるイベントの絶対数が足りません。
- 交流会WG系イベントもいいですが、もっともっとハードルを下げて、高頻度かつ気軽に他団体のメンバーと会える環境ができればいいなあと思います。
(「今日〇×大と飲むからそこで聞いてみよう!」 的な...)
- 「UNISON Cafe」みたいなものがあつたらいいかも??



UNISONの問題点

- 各研究室学生の交流及び技術交換を行う場
 - 1. 年1回ずつの総会, WSでは所属研究室が多くなってきた最近では不足気味
 - 2. 交流会, HPを活用できれば...
- 技術競争の場
 - 能代, ALISS等でおおむね達成？

- ・先端を行く団体と競技参加団体などに分断され、団体間のコミュニケーション確立が難しい。
- ・とりあえず加盟する人口も多い。
- ・共同プロジェクトはリソース不足で難しい(時間、人員など)
- ・マンネリ感？

さいごに

- 本日は、UNISON未来検討委員会にご参加いただきありがとうございました。
- これからもご意見・アイディア等ございましたら、ばしばしUNISON代表までお願いします。
- 第二回UNISON未来検討委員会は秋ごろの開催を予定しています。
- 懇親会には多くのUNISASの方がいらっしゃるので、ぜひ今日の議論の続きをぶつけてみてください！